



月刊 千葉労働

国鉄千葉動力車労働組合

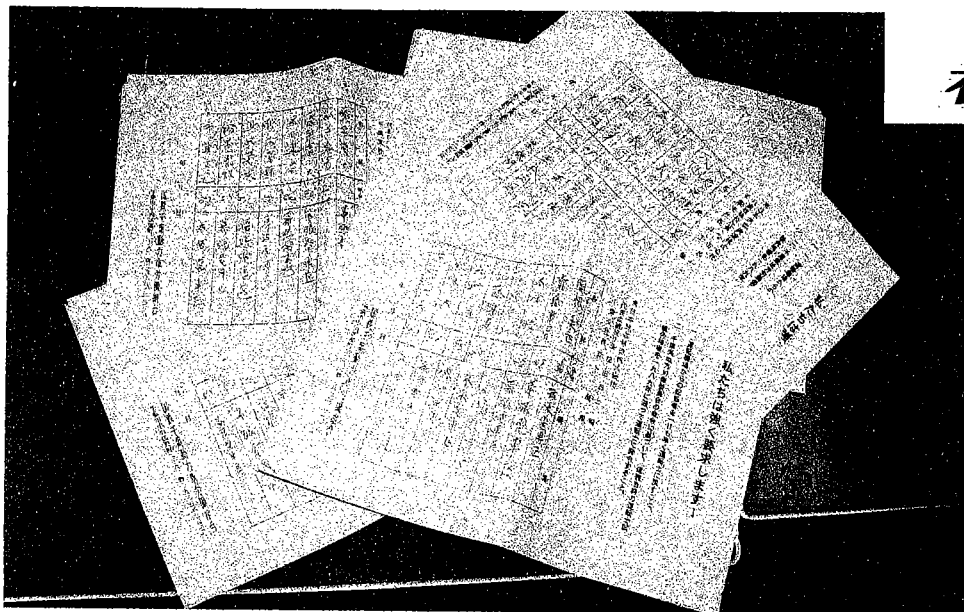
〒260 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番
(公) 043 (222) 7207 番

97.12.1 No. 4701

職場全員の署名を!

幕張支部からの報告



幕張支部は、今年度の最重要課題として確認された強制配転者の原職復帰、予科生の土職登用に向けた闘いの第一歩として、本社・千葉支社に対する署名運動を開始しました。

三日間で全員の署名を集めた!

「平成採」の者が次々と運転士に発令されるなか、幕張支部には、予科生四名、駅・売店・そば店などをたらいまわしにされてきた強制配転者八名、勝浦運転区の廃止にもなつて運転士を外された者、未だ2等級の

者など、動労千葉の組合員といふだけであらゆる不当労働行為をかけられてきた組合員が多くいます。こんなことが許されていいはずがありません。

幕張では、当事者の予科生、支部執行委員を先頭に署名運動への協力要請と説明を国労、鉄産労の各分会長に行い、最初に署名をしてもらいました。また、仕事の各パート別に署名の責任者を決めて、署名もれないように配置表で一人一人署名をしてもらいました。

動労千葉の組合員はもろろんのこと、他組合の人も「こんな不当労働行為は許せない」と好意的に取り組んでくれて、わずか三日間で助役・学士を除く全員から署名をもらうことができました。これからは、残る派出の人の署名を全力で取り組みたいと思います。

重要なことは!

- ① 今回の署名運動を取り組んでみて重要だと感じたことは、
- ② 配転者・予科生の痛みを本気で自分のことと受けとめて署名を取り組むこと、
- ③ 他労組の一人一人に「このような差別が許されていないのか」と訴えれば、必ずわかってくれるということだ。

以上のことにふまえて署名運動にうつてよう! 「こんなやつと話ができるか」「はずかしい」等、むずかしいことは考え

ずとにかく署名を集めよう。

全組合員の力を結集して運転職場全員から署名をもらい、強制配転者の原職復帰、予科生の土職登用、昇進差別粉砕、一切の不当労働行為を根絶する闘いの出発点として、この署名運動を全力でおし進めよう!

(幕張支部通信員発)

配転者・予科生 全員集会を開催

十一月二十五日から二十七日の三日間、配転者・予科生の全員集会が開催された。

集会には、各駅に配転されている組合員や運転士の登用を拒否されつづけてきた予科生、検修区で未だ2等級の者など、さまざまな理由で不当な差別を受けてきた組合員が集まり、何としても不当労働行為に風穴を開けるために新たな闘いに起つ意志統一が行われた。

現在、営業に配転されている組合員は四五名。医適等を理由として運転士から外された者もいるが、ほとんどが理由なき強制配転者だ。また検修職場にも二〇名に及ぶ予科生や土職からの配転者がいる。集会では、「二八名の解雇撤回という大きな勝利をかち

差別を許すな!
強制配転粉砕、土職登用差別粉砕に向け
全支部で署名運動を
やりぬこう!

とつた動労千葉の次の課題は、一〇四七名の解雇撤回闘争に勝利することであり、JR総連を解体して職場から不当労働行為を根絶することだ。

- ① 署名運動を突破口として、
- ② 団体交渉や中労委に対する要請行動の強化、
- ③ 不当な差別の社会的な暴露、
- ④ 支社や本社への大衆行動の強化、
- ⑤ ストライキを含む闘いの展開、
- ⑥ そして何よりも差別の元凶であるJR総連解体・組織拡大に向けた取り組みの強化等、あらゆる手段を尽くして強制配転者の原職復帰に向けた風穴を開けよう」との本部からの提起中心に、活発な討議が行われた。闘いは始まった。配転者・予科生を先頭に、全組合員をあげた取り組みを強化しよう!